



第59卷 第6号

史学・地理学・考古学

論 説

- 便補保の成立について……………勝 山 清 次 (1)
 —「納官済物」納入制度の変遷—
 ロシア史料より見たグシ汗の事績……………若 松 寛 (42)
 バリ講和会議と日本・中国……………藤 本 博 生 (70)
 —「人種案」と日使桐暁事件—

ノ ー ト

- 中世イギリスにおける領主都市の二類型……………武 居 良 明 (98)

書 評

- 瀬野精一郎著『鎮西御家人の研究』……………工 藤 敬 一 (125)
 山田憲太郎著『東亜香料史研究』……………植 村 泰 夫 (132)
 Karl Schnith, *England in einer sich wandelnden Welt*…富 沢 靈 岸 (138)
 岸田達也著『ドイツ史学思想史研究』……………中 山 治 一 (143)

紹 介

- 護 雅夫『古代遊牧帝国』……………堀 川 徹 (149)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

編集後記

秋冷の候となりました。会員諸氏には、益々御清祥のことと存じます。

定期に五九巻六号をお届けることを喜んでおります。本号には、国史博士課程の勝山清次氏による「便補保の成立について」京都市立大学助教授若松寛氏の「ロシア史料より見たグシ汗の事績」現代史博士課程の藤本博生氏の「パリ講和会議と日本・中国」の三論説と、信州大学教授武居良明氏による研究ノート「中世イギリスにおける領主都市の二類型」を掲載することができました。そのほかに四篇の書評とユニークな紹介とを得、また欧文レジメについては、西洋史研究室諸兄の協力をえました。

であった北アジア最後の遊牧帝国ジュンガル汗国オイラトのハーングシ汗の青海進出以前の姿を、生きいきと描きだすことに成功している。藤本論文は、パリ講和会議における「人種案」と、従前あまり触れられることの少なかった日使恫喝事件をとりあげ、世界現代史の一環である日中関係史に果した影響と役割を追求する。そして日本では対欧米協調からアジア・モンロー主義への移行、中国ではより一層共産主義への接近がなされ、五・四運動へとつながってゆく過程を克明におった力作である。武居論文は、イギリスの中世領主都市をとりあげ、マンチェスター、レスター、ニューカースルの三都市を比較して、中世領主都市には二類型のあることを指摘している。ところで、本号は六号であるから、五九巻全体についてもみておきたい。論説では、国史七篇、東洋史三篇、西洋史四篇、現代史三篇、地理一篇、考古二篇、ノートでは、国史・西洋史・西南アジア史の各一篇である。特に国史、東洋史、西洋史、現代史は、編集会議にかかる論文の数が多く、編集委

員の間で採否をめぐって激論の交わされることもしばしばである。その点、西南アジア、地理、考古は、相対的に論文数が少ないように思われる。会員諸氏は、投稿規定を参照されて、編集委員会宛にふるって原稿を御送付下さるようお願いいたします。

最後に、会員諸氏のため、また寄稿された方々のためにも、定期の刊行を持続するよう編集子一同、奮闘してゆきたいと念じております。つきましては、今後とも投稿や会費納入などの面におきましても、会員各位のさらなる御協力をお願い申し上げます。(岡内三真)

一九七六年十月二十五日印刷 定価七五〇円
一九七六年十一月一日発行

史 林 (第五九巻第六号)

発行人 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部
理事 長 佐 藤 長
振替 京都五一五五番

印刷所

京都市下京区七条御所ノ内町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LIX No. 6

Nov. 1976

CONTENTS

Articles :

- On the Making of Bempo-no-ho 便補保S. *Katsuyama* (1)
Achievements of Gūsi xān 顧實汗 through the
Russian ArchivesH. *Wakamatsu* (42)
Paris Peace Conference, Japan and ChinaH. *Fujimoto* (70)

Note :

- Two types of the seigniorial borough in mediaeval
EnglandY. *Takei* (98)

Book Reviews :

- S. Seno *A Study of Chinzei Gokenin* 鎮西御家人K. *Kudo* (125)
K. Yamada *A Study of Spice's History in East Asia*Y. *Uemura* (132)
K. Schnith *England in einer sich wandelnden Welt*R. *Tomizawa* (138)
T. Kishida *A Study of the history at the historical
ideas of Germany* J. *Nakayama* (143)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan